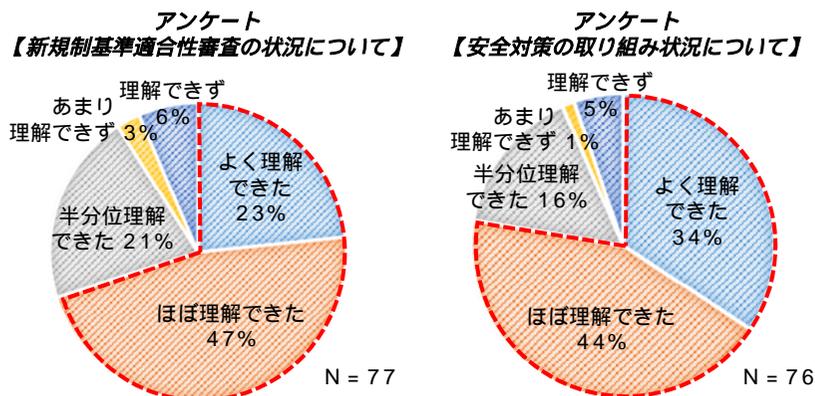


地域の皆さまとのコミュニケーション活動について

2016年10月13日
東京電力ホールディングス
柏崎刈羽原子力発電所

地域説明会

来場者数：9/13 柏崎会場（79名）、9/14 刈羽会場（24名） 計103名



【アンケートの主なご意見】

- ・住民の安全のため柏崎刈羽原子力発電所の再稼働はやめてもらいたい。
- ・東京電力の「嘘をつく体質」が改善されるのかとても心配。
- ・地域説明会を多く開催してほしい。
- ・災害に強い世界一の発電所を作り上げ、信頼を確保してほしい。
- ・発電所の安全が確保されるなら運転してもらいたい。
- ・日本のエネルギー事情を考えると原子力発電は必要だと思っている。

「地域の会」による発電所のご視察

視察内容：桑原会長を含め、計9名の委員の皆さまが、主に訓練対応をご視察
免震重要棟での防災訓練や緊急車両の操作訓練などについて説明

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会

原子炉建屋への注水模擬訓練【6号機】



緊急時対策本部での説明【免震重要棟】



自衛消防隊による放水訓練【貯水池】



【委員からの主なご意見】

- ・これまでハードを中心に安全対策を見てきたが、今回は中央制御室の訓練や対策本部での訓練など緊急時の対応の取組を間近で見ることができて安心度が増した。
- ・福島第一原子力発電所事故の教訓を活かす思いが、よく伝わってきた。
- ・訓練はシナリオが知らされずに行われ、所員が緊張感を持って対応していたが、事故前はどうかだったのか。
- ・原子力への考え方は様々だが、発電所の状況を自分の目で見て考えることが大切。

サービスホール「キッズフォレスト」のオープン

オープニングイベント：9/22（木・祝）、9/24（土）、9/25（日） 計約1,300名来館

キッズコーナーのリニューアル

サービスホール展示館の4階キッズコーナーの経年劣化や、災害時における避難なども考慮して、1階の旧喫茶スペースを「キッズフォレスト」と命名してリニューアルしました。

「キッズフォレスト」について

家族で集う森の一角をイメージしたコミュニティスペースです。

サービスホールでは、原子力発電の仕組みや安全対策の状況をお伝えするだけでなく、地域の皆さまにとって親しみを持って来館していただけるような魅力あるスペースにしていきたいと考えております。



こどもに大人気の「かげのもり」



家族のコミュニティスペース



【来館者の主なご意見】

- ・これまでもよく利用していたが、1階に移動して更に使いやすくなった。
- ・家が近所なので気軽に来ることができる。
- ・「かげのもり」が面白かったのでまた利用したい。